

農業と、もっと、つながるあしたへ。

91農業フォーラム in 東北

～あなたも農のパートナーに！地域を支える新しい関わり方～

「91農業(きゅういちのうぎょう)」とは

「91農業」は生活の中の少しの時間、週末の休暇、都合の良い日に、都合の良い場所で、いま働く場を求めている人と、働き手を求める農家を繋げる新たなライフスタイルです。

2026年 **2月25日** 水

開演／13:00～16:30(開場12:00)

会場／AER 5階 仙台市中小企業活性化センター
多目的ホール

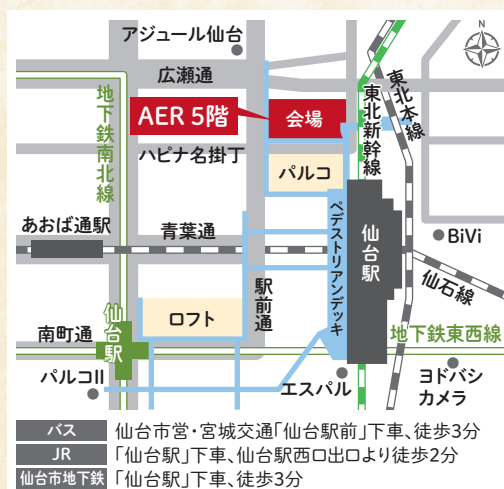
宮城県仙台市青葉区中央1-3-1

入場無料

※事前申込制

お申込み方法はウラ面をご覧ください。

楽しい抽選会も開催いたします！



バス 仙台市営・宮城交通「仙台駅前」下車、徒歩3分
JR 「仙台駅」下車、仙台駅西口出口より徒歩2分
仙台市地下鉄 「仙台駅」下車、徒歩3分

(元プロサッカー選手)

特別講演

中田 英寿 氏

テーマ／「農業の魅力と可能性について」

～自身の経験を交えた農業労働力支援への呼びかけ～

中田 英寿氏プロフィール／元サッカー日本代表選手。2006年の現役引退後、2009年より全国47都道府県を巡り、酒蔵、農家、工芸家など日本の伝統文化・産業を発信する「にほんもの」PROJECTを推進。2015年にJAPAN CRAFT SAKE COMPANYを設立し、日本酒・日本茶を軸に、ブロックチェーンやデジタル技術を活用して伝統産業の価値を世界市場へ届けている。2025年には農水省と連携し「農業×スポーツ」プロジェクトにも取り組む。



聞き手／小谷 あゆみ 氏

農業ジャーナリスト／フリーアナウンサー

小谷 あゆみ氏プロフィール／石川テレビ放送のアナウンサーを経てフリーに。全国の農業・農村取材する傍ら、野菜を作るアナウンサー「ベジアナ」として農ライフの楽しさを発信。YouTube「全農ストーリー」に出演中。



91農業フォーラム in 東北

～あなたも農のパートナーに!地域を支える新しい関わり方～

近年、地方の人口減少や高齢化が著しく進んでおり、各地域では労働力の不足が喫緊の課題となっています。本フォーラムでは、国産の食や農に関わりの深い著名人からの呼びかけや、全農とパートナー企業が連携して取り組む「農業労働力支援事業」の事例を共有し、参加者の方々が「自分たちも地域農業の“新しいパートナー”として貢献できる可能性がある」と感じてもらえる機会を創出することを目的としています。さらに、本フォーラムでの議論や各種メディアを通じた情報発信を通して、農業労働力支援の取組みが安定的な農業生産につながることを広く一般消費者にも理解してもらい、地域農業の“パートナー”として参画していただくきっかけづくりとすることを目指します。

プログラム

13:00～13:10	開会挨拶	
13:10～13:30	情勢報告	・農業労働力不足の現状と91農業の取組みについて ・東北6県における労働力支援の取組紹介
13:30～14:20	特別講演	テーマ:「農業の魅力と可能性について」 ～自身の経験を交えた農業労働力支援への呼びかけ～ 登壇者: 中田 英寿氏(元プロサッカー選手) 聞き手: 小谷 あゆみ氏(農業ジャーナリスト/フリーアナウンサー)
14:30～15:00	事例報告	・東北における農作業支援/日本航空(株) ・福島県北部地区郵便局との連携による農作業支援/JAふくしま未来 ・兵庫県での農作業受託事業/(株)そうしんアグリ
15:00～16:00	パネル ディスカッション	テーマ:「地域農業を支える連携の在り方」 登壇者: 事例報告者3名、全農県本部職員 コーディネーター: 小谷 あゆみ氏
16:10～16:15	クロージング メッセージ	
16:15～16:25	抽選会	プレゼント抽選
16:25～16:30	閉会挨拶	

JA全農グループの商品などが当たる抽選会も開催いたします!お楽しみに!

〔お申込み方法〕 ※定員を超えるお申込みがあった場合は抽選となります。

入場無料 **事前申込制**

お申込み締め切り

2026年2月13日(金) 正午まで

お申込みは
こちらから→



お問い合わせ先

JA全農 耕種総合対策部 東北営農資材事業所 TAC・生産対策課(岡本・小笠原)
Tel. 022-721-1571 (受付時間/平日10:00~16:00)

主催

- ・JA全農 耕種総合対策部 東北営農資材事業所
- ・東北ブロック労働力支援協議会

後援

- ・農林水産省 東北農政局
- ・東奥日報社・秋田魁新報社・岩手日報社・山形新聞社・河北新報社
- ・福島民報社・福島民友新聞社
- ・農林中央金庫 東北営業部